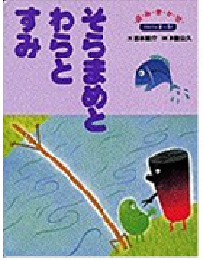



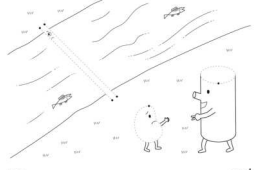

3歳児クラス 9月 第1回 「そらまめとわらすみ」

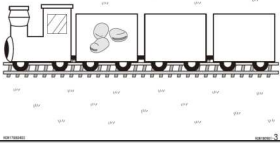
保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> ジャンケンで渡る順番を決める場面では、子どもたちを巻き込み一緒に「ジャンケンポン」と掛け声をかける。 お友だちの失敗を笑うことは良くないことだという絵本のメッセージが伝わるように読む。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> 保:「そらまめ・わら・すみ」のペープサートを持って登場。講師との会話の中で自己紹介。子どもたちを巻き込みながら、登場人物に興味を持たせ「これからお散歩にいきます」とお話を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート (そらまめ・わら・すみ) 	
導入		保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> ペープサートを持って登場 子どもと一緒にストーリーや会話を楽しむ 

がくしゅうタイム

活動①	ねらい	書く	力強い線で点線をなぞることができる	
設問			点線をなぞって「そらまめ」「わら」「すみ」を描きましょう。	
つなぎ			<ul style="list-style-type: none"> 講:「人の失敗笑っちゃいけないね」 保:「今日もお話博士からお手紙届いています」とプリントの入った封筒提示。 	教材
活動内容			<ul style="list-style-type: none"> 講:「お話の中の3人がいるよ。」とプリント提示。 保:プリント配布。 講:プリントの絵を見ながらお話の場面を思い出す。「大変!3人とも消えちゃいそう。助けてあげなきゃ」 ①クレヨンの握り方 ②スタート、ストップ地点 ③直線、曲線それぞれの描き方以上を確認しながら力強い実線の見本を見せる。 講:「みんなも助けてあげよう」 保:クレヨン配布。 子:力強く点線をなぞっていく。点線をつないだら好きな色でごしごしと色を塗る。 講:完成したプリント見せ合いっこ。「きえそうだった3人良かったね。強い線描けたね」と賞賛。プリントを1枚めくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★クレヨン
				保育士の役割
活動②	ねらい	記憶	豆の違いを知り「そらまめ」が解る	
設問			お話に出てきた「そらまめ」はどれですか。○をつけましょう。	
つなぎ			<ul style="list-style-type: none"> 講:「こんどはお話クイズ。今日もチャレンジしてみる?」 	教材
活動内容			<ul style="list-style-type: none"> 講:「色々な豆があるね…」と三種の形の違いを確認。「では問題です。お話に出てきた「そらまめ」はどれですか。〇〇の色で○をつけましょう」色の指示を入れながら解答させる。(特に理解が弱い中間色を入れると良い) 絵本やシアターを見ながら答えを確認し(お話の中にも出てきたそら豆の黒い線にも注目させる)、はなまるやスタンプで賞賛。 提示用豆カードを使って知識として他の豆(いんげん・さやえんどう・枝豆・落花生=ピーナッツ)の名も確認。豆に興味を持たせ食育へと繋げるのも良い。 「今日はクイズがもう一つあるよ」と次に期待を持ってプリントをめくり<活動3>へスムーズに進行させる。 	<ul style="list-style-type: none"> P2 P2用提示カード ★クレヨン
				保育士の役割

活動③		ことば	しりとりを理解してカードを貼ることができる	
設問	「そらまめ」からはじまる「しりとりでんしゃ」を完成させましょう。			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「こんどはしりとりでんしゃだつて」※提示用プリント使用 			教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「しりとりって知ってる？」プリントに取り組む前に「りんご→ごりら→次は？」といった様に「しりとり遊び」を展開させてみる。このとき「ルール」の理解と文字への興味のため、実際に文字を書いて伝えると理解を深めやすい。 保：「こんなカードと一緒に届いてましたよ」としりとりカードを提示。 講：カードを受け取り子どもたちと名称確認。ルールを理解したうえで子どもたちに問いかけながら見本行動。「そらまめ」→「めがね」→「ねこ」の順番で口の中にカードを貼って完成させていく。 保：「みんなの分もありますよ」とカード提示。 講：「しりとりでみんなも完成させてみよう」とカード配布。 子：カードの名称を声に出しながらカードを貼っていく。(シールゴミは皿へ) 全員で完成した電車のカードの名称を左から順番に声に出して確認。はなまるやスタンプで賞賛。終了。プリント回収。 <p>※「しりとり遊び」は日頃のちょっとした待ち時間でもできる遊びです。取り入れていきましょう。</p>			P3 P3用しりとりカード (両面テープ付) 提示用プリント&カード ★皿(テーブルゴミ用)
				保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 提示用プリント準備 提示用しりとりカード提示 配布用カード提示 子どもの理解に合わせてフォロー 賞賛 プリント回収

数子ヤレ		数の操作	「あわせていくつ？」を理解して「4こ」の数の操作に答えることができる。	教材
設問	「3こ」と「1こ」あわせていくつある？			おはじき 皿
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 「4こ」のおはじきを2枚の皿に分けて準備。2枚の皿を同時に見せ「あわせていくつある？」と聞いてみる。同様に1：3・2：2など左右の数を変えて行う。 すぐに答えられない子には「数えてみよう」と一緒に数え、「いくつあった？」と確認する。 「あわせていくつ？」の意味を知ることがまずはポイントです。 			保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 2枚の皿を提示 「あわせていくつ？」と設問。必要に応じて一緒に数える